



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年5月15日

東

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所
コード番号 3079 URL <https://www.dvx.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 諏訪 聡志 (TEL) 03-6899-3975
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月6日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	50,321	9.8	537	△17.7	542	△18.1	410	137.2
2024年3月期	45,851	△3.4	653	△51.3	662	△51.0	172	△81.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	39.20	—	4.5	2.3	1.1
2024年3月期	16.58	—	1.9	2.9	1.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	25,537	9,127	35.7	871.63
2024年3月期	22,678	9,198	40.6	880.72

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,127百万円 2024年3月期 9,198百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	725	△631	△524	7,058
2024年3月期	△422	△396	△312	7,489

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	522	301.6	5.6
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	523	127.6	5.7
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		132.8	

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は、2026年3月期より連結決算に移行します。連結決算移行に伴う連結業績予想の公表につきましては、「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」及び本日開示しました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	10,780,000 株	2024年3月期	10,780,000 株
② 期末自己株式数	2025年3月期	307,944 株	2024年3月期	335,444 株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	10,462,261 株	2024年3月期	10,429,462 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度のわが国の経済は、緩やかに回復しました。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されています。一方で、米国のトランプ政権が打ち出す通商政策等による不透明感がみられ、特に自動車産業等、米国に輸出を行っている業界を中心に大きな影響を及ぼす可能性があります。また、国内においても、日本銀行が2024年7月及び2025年1月に政策金利の利上げを実施し、現在の政策金利は0.5%となりました。政策金利が0.5%になるのは、2007年2月から2008年10月以来となります。1995年9月以降、政策金利が0.5%を超えたことがなく、過去30年間の中でも高い金利水準となりました。外需に限らず、内需にも少なからず、影響を及ぼすことが予想されます。

医療機器業界におきましても、利上げによって資金調達コストが上昇することから、医療機関の経営環境にも影響を及ぼすこととなり、さらなる業務の効率化が求められます。

このような情勢のもと、当社では、持続可能な医療環境の整備の一翼を担うべく、医療機関のニーズを捉えた最適な商品やサービスの提案に努め、医療の安全、安心のために安定して商品を生供給し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は50,321,644千円(前期比9.8%増)、営業利益537,458千円(同17.7%減)、経常利益542,782千円(同18.1%減)、当期純利益410,119千円(同137.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

セグメントの名称	前事業年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		当事業年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
不整脈事業	39,305,978	85.7	42,519,967	84.5	3,213,989	8.2
虚血事業	2,456,059	5.4	3,193,109	6.3	737,050	30.0
その他	4,089,037	8.9	4,608,567	9.2	519,530	12.7
合計	45,851,074	100.0	50,321,644	100.0	4,470,570	9.8

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

主に、PFアブレーション用カテーテルが新発売されたことによる影響及び電気生理検査用カテーテルの販売が好調だったため、当事業年度の売上高は42,519,967千円(前期比8.2%増)、セグメント利益は4,122,502千円(同3.9%増)となりました。

② 虚血事業

主に、経皮的冠動脈形成術用穿刺部止血材料の販売が好調だったため、当事業年度の売上高は3,193,109千円(前期比30.0%増)、セグメント利益は373,453千円(同13.4%増)となりました。

③ その他

主に、TAVI等のストラクチャー関連の販売が好調だったため、当事業年度の売上高は4,608,567千円(前期比12.7%増)、セグメント利益は498,292千円(同6.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 流動資産

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末と比較して2,280,459千円増加し、23,436,673千円となりました。その主な要因は、売上高や商品仕入高の増加に伴い売掛金が1,224,066千円、商品が1,160,543千円、その他が212,389千円増加したこと等によるものであります。一方で、現金及び預金が2,430,882千円減少しておりますが、そのうち、2,000,000千円は金銭の信託の増加によるものであります。

(ロ) 固定資産

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末と比較して578,067千円増加し、2,100,728千円となりました。その主な要因は、投資有価証券が228,644千円、工具、器具及び備品（純額）が214,216千円、差入保証金が88,636千円、繰延税金資産が76,000千円増加したこと等によるものです。

(ハ) 流動負債

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末と比較して2,923,217千円増加し、15,881,367千円となりました。その主な要因は、商品仕入高の増加に伴い、買掛金が2,817,338千円、未払法人税等が126,000千円増加したこと等によるものです。

(ニ) 固定負債

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末と比較して6,276千円増加し、528,267千円となりました。その主な要因は、退職給付引当金が25,983千円増加、その他が18,200千円減少したこと等によるものです。

(ホ) 純資産

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して70,967千円減少し、9,127,766千円となりました。その主な要因は、剰余金の配当により522,227千円減少する一方、当期純利益により410,119千円、自己株式の処分により27,472千円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の獲得725,543千円、投資活動による資金の支出631,931千円、財務活動による資金の支出524,088千円等により、前事業年度末と比較して430,882千円減少し、7,058,521千円(前期比5.8%減)となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

棚卸資産の増加1,518,154千円、売上債権の増加1,314,583千円、その他の減少366,504千円、法人税等の支払額95,049千円等の支出要因があった一方、税引前当期純利益537,772千円に加え、仕入債務の増加2,816,067千円、減価償却費577,775千円等の収入要因により、725,543千円の資金の獲得(前期は422,567千円の資金の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出324,593千円、投資有価証券の取得による支出214,999千円、差入保証金の差入による支出93,234千円等の支出要因により、631,931千円の資金の支出(前期は396,557千円の資金の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額521,684千円等の支出要因により、524,088千円の資金の支出(前期は312,310千円の資金の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率(%)	38.5	38.6	39.4	40.6	35.7
時価ベースの自己資本比率(%)	53.3	48.3	44.3	46.6	38.4
債務償還年数(年)	0.0	—	0.0	—	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	46,207.1	6,721,868.3	11,814.4	—	2,885.6

(注) 1 各指標は以下の計算式により算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。

4 2022年3月期の債務償還年数については、有利子負債がないため、記載しておりません。

5 2024年3月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2026年3月期の見通しにつきましては、引き続き営業活動の強化を図ることから、売上高は堅調に推移すると見込んでおります。当社は、比較的粗利率の高い独自商品の開発や販売に注力するほか、高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客の深耕と新規顧客開拓を行うことで、持続的な事業の成長拡大を目指してまいります。

通期の連結業績予想は、売上高が51,956百万円、営業利益及び経常利益は581百万円、親会社に帰属する当期純利益は395百万円を見込んでおります。

なお、当社は、2026年3月期より連結決算に移行するため、連結での業績予想に変更しており、今後は個別業績予想は開示いたしません。

※業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題として、企業価値および株式価値の向上を図ることによって株主還元を継続的かつ安定的に強化する。配当については、DOE（株主資本配当率）5.0%以上を目途に配当額を決定することを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、2025年3月期の配当金につきましては、1株当たり50.00円(配当性向127.6%)の普通配当を実施することといたしました。

なお、次期(2026年3月期)の配当については、1株当たり50.00円(配当性向132.8%)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,489,404	5,058,521
受取手形	191,533	114,355
電子記録債権	1,332,469	1,500,164
売掛金	10,083,565	11,307,632
金銭の信託	—	2,000,000
商品	1,586,090	2,746,633
前払費用	164,865	188,791
その他	308,884	521,273
貸倒引当金	△600	△700
流動資産合計	21,156,213	23,436,673
固定資産		
有形固定資産		
建物	105,010	109,646
減価償却累計額	△64,444	△78,686
建物（純額）	40,566	30,959
車両運搬具	215,813	263,191
減価償却累計額	△188,164	△234,687
車両運搬具（純額）	27,648	28,504
工具、器具及び備品	2,530,009	3,117,135
減価償却累計額	△1,895,268	△2,268,177
工具、器具及び備品（純額）	634,741	848,957
リース資産	13,784	13,784
減価償却累計額	△2,149	△4,335
リース資産（純額）	11,634	9,448
その他	31,108	26,494
有形固定資産合計	745,697	944,364
無形固定資産		
ソフトウェア	21,128	22,900
その他	2,500	—
無形固定資産合計	23,628	22,900
投資その他の資産		
投資有価証券	95,230	323,874
出資金	135	135
長期前払費用	36,472	23,320
差入保証金	241,497	330,133
繰延税金資産	380,000	456,000
投資その他の資産合計	753,334	1,133,463
固定資産合計	1,522,661	2,100,728
資産合計	22,678,874	25,537,401

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,234,790	15,052,128
電子記録債務	99,972	98,701
未払金	197,218	170,569
未払費用	71,110	76,461
未払法人税等	—	126,000
未払消費税等	39,986	—
契約負債	23,387	20,727
返金負債	—	10,092
リース債務	2,064	2,724
資産除去債務	—	6,109
預り金	7,445	8,029
賞与引当金	282,175	309,823
流動負債合計	12,958,150	15,881,367
固定負債		
退職給付引当金	473,761	499,744
リース債務	10,459	10,699
資産除去債務	1,870	123
その他	35,900	17,700
固定負債合計	521,990	528,267
負債合計	13,480,140	16,409,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金		
資本準備金	314,730	314,730
資本剰余金合計	314,730	314,730
利益剰余金		
利益準備金	4,710	4,710
その他利益剰余金		
別途積立金	250,000	250,000
繰越利益剰余金	8,638,155	8,524,562
利益剰余金合計	8,892,865	8,779,272
自己株式	△353,319	△324,362
株主資本合計	9,198,733	9,114,098
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	13,668
評価・換算差額等合計	—	13,668
純資産合計	9,198,733	9,127,766
負債純資産合計	22,678,874	25,537,401

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	45,851,074	50,321,644
売上原価		
商品期首棚卸高	1,502,639	1,586,090
当期商品仕入高	41,174,446	46,486,352
合計	42,677,085	48,072,442
他勘定振替高	4,489	△1,586
商品期末棚卸高	1,586,090	2,746,633
商品売上原価	41,086,505	45,327,395
売上総利益	4,764,568	4,994,249
販売費及び一般管理費	4,111,416	4,456,791
営業利益	653,152	537,458
営業外収益		
受取利息	1,058	1,539
有価証券利息	—	1,495
受取配当金	3	3,392
為替差益	6,173	—
その他	5,613	806
営業外収益合計	12,849	7,233
営業外費用		
支払利息	251	251
投資事業組合運用損	—	1,085
為替差損	—	396
棚卸資産廃棄損	3,216	—
その他	33	176
営業外費用合計	3,500	1,909
経常利益	662,500	542,782
特別利益		
固定資産売却益	479	2,086
新株予約権戻入益	10,222	—
特別利益合計	10,701	2,086
特別損失		
固定資産売却損	—	164
固定資産除却損	2,918	1,701
投資有価証券評価損	294,770	5,229
特別損失合計	297,688	7,096
税引前当期純利益	375,513	537,772
法人税、住民税及び事業税	201,599	209,944
法人税等調整額	1,000	△82,291
法人税等合計	202,599	127,652
当期純利益	172,913	410,119

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,785,583	9,040,293
当期変動額							
剰余金の配当						△312,064	△312,064
当期純利益						172,913	172,913
自己株式の処分						△8,277	△8,277
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△147,428	△147,428
当期末残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,638,155	8,892,865

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△397,966	9,301,514	10,412	9,311,926
当期変動額				
剰余金の配当		△312,064		△312,064
当期純利益		172,913		172,913
自己株式の処分	44,647	36,369		36,369
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△10,412	△10,412
当期変動額合計	44,647	△102,781	△10,412	△113,193
当期末残高	△353,319	9,198,733	—	9,198,733

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,638,155	8,892,865
当期変動額							
剰余金の配当						△522,227	△522,227
当期純利益						410,119	410,119
自己株式の処分						△1,485	△1,485
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△113,593	△113,593
当期末残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,524,562	8,779,272

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△353,319	9,198,733	—	—	9,198,733
当期変動額					
剰余金の配当		△522,227			△522,227
当期純利益		410,119			410,119
自己株式の処分	28,957	27,472			27,472
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			13,668	13,668	13,668
当期変動額合計	28,957	△84,635	13,668	13,668	△70,967
当期末残高	△324,362	9,114,098	13,668	13,668	9,127,766

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	375,513	537,772
減価償却費	432,220	577,775
株式報酬費用	34,006	29,229
新株予約権戻入益	△10,222	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,929	25,983
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,836	27,648
受取利息及び受取配当金	△1,062	△6,427
支払利息	251	251
為替差損益 (△は益)	△6,617	407
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	1,085
有形固定資産売却損益 (△は益)	△479	△1,921
有形固定資産除却損	2,918	1,701
売上債権の増減額 (△は増加)	△204,176	△1,314,583
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△293,517	△1,518,154
仕入債務の増減額 (△は減少)	△612,729	2,816,067
投資有価証券評価損益 (△は益)	294,770	5,229
その他	16,597	△366,504
小計	28,566	815,661
利息及び配当金の受取額	27	5,182
利息の支払額	△251	△251
法人税等の支払額	△450,910	△95,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	△422,567	725,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△290,210	△324,593
有形固定資産の売却による収入	479	2,349
無形固定資産の取得による支出	△6,465	△6,533
投資有価証券の取得による支出	△60,000	△214,999
差入保証金の差入による支出	△47,387	△93,234
差入保証金の回収による収入	7,025	5,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,557	△631,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,853	△2,403
自己株式の処分による収入	1,678	—
配当金の支払額	△312,135	△521,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312,310	△524,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,617	△407
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,124,818	△430,882
現金及び現金同等物の期首残高	8,614,223	7,489,404
現金及び現金同等物の期末残高	7,489,404	7,058,521

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は、商品分類に応じて「不整脈事業」、「虚血事業」、「その他」に区分されますが、主力事業である「不整脈事業」は販売代理店業を、「虚血事業」は国内総代理店業及び販売代理店業を営んでおり、事業ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

そのような状況から、当社は「不整脈事業」及び「虚血事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不整脈事業」は、心臓ペースメーカ、I C D (植込み型除細動器)、電極カテーテル、アブレーション(心筋焼灼術)カテーテル等を販売しております。「虚血事業」は、エキシマレーザ血管形成システム、冠動脈ステント等を販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	3,844,377	—	3,844,377	—	3,844,377
植込型除細動器	2,464,864	—	2,464,864	—	2,464,864
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	1,743,759	—	1,743,759	—	1,743,759
電気生理検査用カテーテル	11,230,094	—	11,230,094	—	11,230,094
心腔内超音波プローブ	4,143,440	—	4,143,440	—	4,143,440
熱アブレーション用 カテーテル(機能付き)	5,842,183	—	5,842,183	—	5,842,183
熱アブレーション用 カテーテル	284,511	—	284,511	—	284,511
冷凍アブレーション用 カテーテル	2,661,268	—	2,661,268	—	2,661,268
エキシマレーザー	—	213,673	213,673	—	213,673
その他	6,578,290	2,177,395	8,755,685	4,089,037	12,844,722
顧客との契約から生じる 収益	38,792,791	2,391,068	41,183,859	4,089,037	45,272,896
その他の収益	513,187	64,990	578,178	—	578,178
外部顧客への売上高	39,305,978	2,456,059	41,762,037	4,089,037	45,851,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,305,978	2,456,059	41,762,037	4,089,037	45,851,074
セグメント利益	3,968,281	329,349	4,297,630	466,938	4,764,568

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科、一般外科、消化器等の商品を販売しております。

2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	3,920,761	—	3,920,761	—	3,920,761
植込型除細動器	2,307,784	—	2,307,784	—	2,307,784
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	1,773,689	—	1,773,689	—	1,773,689
電気生理検査用カテーテル	11,744,334	—	11,744,334	—	11,744,334
心腔内超音波プローブ	4,561,199	—	4,561,199	—	4,561,199
熱アブレーション用 カテーテル(機能付き)	5,708,388	—	5,708,388	—	5,708,388
熱アブレーション用 カテーテル	194,440	—	194,440	—	194,440
冷凍アブレーション用 カテーテル	2,251,872	—	2,251,872	—	2,251,872
PFアブレーション用 カテーテル	1,788,243	—	1,788,243	—	1,788,243
エキシマレーザー	—	182,819	182,819	—	182,819
その他	7,695,337	2,969,180	10,664,517	4,608,567	15,273,085
顧客との契約から生じる 収益	41,946,052	3,151,999	45,098,052	4,608,567	49,706,619
その他の収益	573,915	41,110	615,025	—	615,025
外部顧客への売上高	42,519,967	3,193,109	45,713,077	4,608,567	50,321,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	42,519,967	3,193,109	45,713,077	4,608,567	50,321,644
セグメント利益	4,122,502	373,453	4,495,956	498,292	4,994,249

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科、一般外科、消化器等の商品を販売しております。
- 2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の売上総利益と一致しております。
- 3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。
- 4 当事業年度より、新商品が販売されたことに伴い、「PFアブレーション用カテーテル」という項目を新たに設けております。

【関連情報】

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	5,536,082	不整脈事業

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	5,891,715	不整脈事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
1株当たり純資産額	880円72銭	1株当たり純資産額	871円63銭
1株当たり当期純利益	16円58銭	1株当たり当期純利益	39円20銭

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2024年3月31日)	当事業年度末 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,198,733	9,127,766
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	9,198,733	9,127,766
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	10,444,556	10,472,056

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益(千円)	172,913	410,119
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	172,913	410,119
期中平均株式数(株)	10,429,462	10,462,261

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

(1) 企業結合の概要

当社は、2025年3月31日開催の取締役会において、総合医療サービス株式会社（以下、総合医療サービス社）の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2025年4月2日に株式を取得しました。

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 総合医療サービス株式会社

事業の内容 臨床検査業務、医療機器販売・賃貸

② 企業結合を行った主な理由

総合医療サービス社は、1992年の設立以来、臨床検査分野、特にホルダー心電図解析においては全国トップクラスの解析件数実績を誇り、多くの医療機関との強固な信頼関係を構築しております。当社は本件を通じて、様々なシナジーを創出できるものと考えており、当社グループの企業価値向上に大いにつながるものと判断し株式取得を決定いたしました。

③ 企業結合日

2025年4月2日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	414,455千円
-------	----	-----------

取得原価	414,455千円
------	-----------

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 30,106千円

(4) 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。